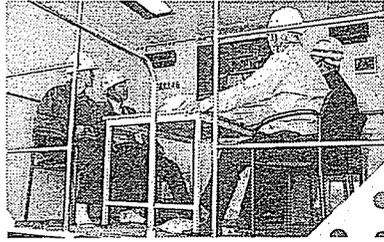


帯広などで 防災訓練実施

宮坂建設工業

【帯広】2003年10勝

沖地震から4年後の26日、宮坂建設工業（本社・帯広）による07年度防災訓練が行われた。会場の帯広中央公園では、起震車による地震模擬体験や災害時空中撮影システムの実演、帯広市消



起震車に乗り関東大震災レベルの揺れを体感した来場者

防職員によるAED講習などが行われ、多くの市民が自然災害への備えを学んだ。

同社では、3年前から9月26日を「防災訓練の日」と位置付け、毎年大規模な訓練を展開している。ことしも全社員168人が参加。午前11時に帯広市近郊で震度5強の地震、札幌市近郊で台風による豪雨が発生したと想定。帯広本社と札幌支店で、それぞれ所管する国道の河川のパトロールを実施しながら、無線で連絡を取り合い、テレビ

会議などで有事の情報伝達を再確認した。

帯広中央公園には、関東大震災、新潟中越地震などの大地震を模擬体験できる起震車を設置。事前に開催案内を受けていた市民らが大きな揺れを体感していた。

また、防災資機材や暴風対策型仮設ハウスの展示、災害対応型バックホーの実演もした。会場でAED講習を開いた帯広市消防本部には、宮坂寿文社長が業務連絡車両を贈った。